

新年の ごあいさつ

登別市議会
議長
大村 喬俊
おおむら たかとし



新年あけましておめでとうございます。
市民のみなさまには、お健やかに初春をお迎
えのこととお喜び申し上げます。
昨年は、国の内外を問わず厳しい経済・雇
用環境に加え、さまざまな緊迫した問題など、
動きの激しい一年でありました。
特に、今日のわが国を取り巻く環境は、市
町村合併をはじめ、厳しい財政状況や少子高
齢化、情報化への対応など、さまざまな問題
に直面しており、各地方自治体では、これら
の問題解決に向け、自主自立の精神で取り組
んでいかなければならない時代となってまい
りました。
先人が築き上げてきた『我がふるさと登
別』の将来を憂いながら行政、議会や市民の
みなさまと共に知恵を出し合い、一丸となっ
て進めていかなければならないと考えており
ます。
こうした中で、登別市議会といたしまし
ても、課せられた責任は重大であることを深く
認識し、情報の提供に努め『分権時代にふさ
わしい議会改革』を進める一方、信頼される
議会運営に全力を尽くしていく決意でありま
すので、今後ともなお一層のご支援とご協力
をお願い申し上げます。
終わりに、今年がみなさま方にとりまして
意義深い年となりますよう心から祈念申し上
げ、新年のご挨拶といたします。

登別市長
上野 晃
うえの あきし



新年あけましておめでとうございます。
市民のみなさまには、健やかに新春を迎え
られたこととお喜び申し上げます。
旧年中は、当市の発展と市民福祉の向上の
ため、ご支援とご協力を賜り、心より感謝申
し申し上げます。
昨年は、厳しい経済情勢が続く中であって、
新たな行政改革実施計画を定めるとともに、
まちの将来あるべき姿を見据え、大型事業の
ラストチャンスとして健康増進施設『新市民
プール（仮称）』や『葬祭場』などの建設を
進めてまいりました。
また、国による中央集権から本来の地方自
治の確立に向けた改革が進められつつある中、
市町村合併の論議をしていただくとともに、
市政に参画する市民の権利と義務を明らかに
し、市民と行政による協働のまちづくりを推
進するため、『まちづくり基本条例（仮称）』
の検討を市民のみなさんをお願いしました。
本年は、財政健全化のためのさらなる改革
に取り組むとともに、『まちづくり基本条
例』を制定し、真の市民参画のまちづくりを
スタートさせたいと考えております。
本年も変わらぬご理解とご協力を賜りま
すようお願い申し上げますとともに、市民の
みなさまにとりまして、明るく幸多い年とな
りますようご祈念申し上げます。